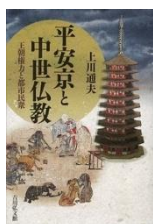


今回は…【京都の塔】に関する図書をご紹介します

【塔】とは、(1) 仏舎利を安置し、あるいは供養・報恩などのために設ける多層の建造物
(2) 高くそびえる建造物 のことを指します。

『大辞泉』（松村 明／監修 小学館） 下巻 p 2538 より



◆『平安京と中世仏教』

(上川 通夫／著 吉川弘文館) 請求記号 L/182. 1/カ

仏教史の観点から、平安京が辿った歴史を捉え直しています。

Ⅱ部第三章に「塔に囲まれた平安京」を所収。



◆『よみがえる古代京都の風景 復元イラストから見る古代の京都』

(梶原 敏夫ほか／著 三星商事印刷) 請求記号 L/210. 3/カ

古代の京都の風景を想像的に復元したイラストが掲載されています。

平安時代の寺院に建てられていた、当時の塔の様子をうかがい知ることが出来ます。



◆『イラストで学ぶ京都の文化財』

(淡交社編集局／編) 請求記号 L/709. 1/イ

京都の文化財をイラストで示し、建築物の部分名称を紹介しています。

醍醐寺の五重塔・宝塔寺の多宝塔などが取り上げられています。

書庫にも

こんな本があります！



◆『日本建築史基礎資料集成』 11巻 塔婆Ⅰ・12巻 塔婆Ⅱ

(太田 博太郎／編集責任 中央公論美術出版) 請求記号 521/オ

国宝および重要文化財に指定された重要建造物を中心に、関係史料を統合・整理し、写真や図版によって個々の建造物の実態の把握を目指した研究資料です。

◆『京の石造美術めぐり』(竹村 俊則／解説 京都新聞社) 請求記号 L/714/タ

京都市内から南山城まで、京都の石造物について紹介した史跡ガイドブックです。

石塔を含む個々の石造物について、鑑賞方法やエピソードを交えてわかりやすく紹介しています。

◆『日本仏塔集成』(浜島 正士／著 中央公論美術出版) 請求記号 521. 8/ハ

日本の仏塔の諸問題について考察し、古代から近世までの全仏塔の写真と主要な仏塔の断面図を収録しています。塔の形式や年代・地域ごとの解説を加え紹介しています。

(※貸出・閲覧していただけます。職員におたずねください)



このほかにも、関連する図書を所蔵しています。
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。

貸出・閲覧や、調べ物のおてつだいをご希望のかたは、

中央図書館 2階・参考図書室へおこしください。